

新勸川合宿報告書

制作 溝口昇太

期間：2007年5月4,5,6日

場所：保津川

宿泊地：馬堀ベース

目的：一回生の皆さんとの親睦を深め、川のスキルアップを目指す。

団体装備：ラフト(1) パドル(7) ライフジャケット(7) ヘルメット(6) ウェットスーツ(7) ポンプ(2)
背負子 防水バッグ 6テン(2) ポール(2) フライ(2) グランドシート(2) ペグ(19) ランタン 浮き
輪(2) ハンマー(2) ガス缶(7) 救急セット ゴミ袋 修理具 スローロープ(2) フリップライン 鍋
(2) 包丁 まないた 風防 洗剤等 マントル(1) 椅子(4) 机(1)レジャーシート ビニール紐 発泡ス
チロール(保存用2) 川MAP ガソリンバーナー ジャム ラフト

会計報告

食費	11447 円
ガソリン代(杉原)	1296 円
(笠井)	1850 円
回数券(馬堀～保津峡)	5400 円
緊急連絡用	1000 円
合計	20993 円

日程

5月3日

御在所帰り組車にラフト積み

5月4日

09:30 馬堀集合

10:00 ラフトJR馬堀駅到着

10:30 第一航下開始

13:00 第一航下終了

13:33～13:36 電車 昼食(各自コンビニ)

14:20 第二航下開始

16:50 第二航下終了

17:17～17:21 電車

17:40 夕食(BBQ)、ミーティングなど

22:00 就寝

5月5日

06:00 起床、朝食

07:00 第三航下開始

09:30 第三航下終了
09:43～09:47 電車
10:30 第四航下開始
13:00 第四航下終了
13:33～13:36 電車 昼食(パスタ)
14:20 第五航下開始
16:50 第五航下終了
17:17～17:21 電車
17:40 夕食(パスタ)、ミーティングなど

5月6日

06:00 後片付け
11:30 大学にて解散

天候

- 一日目 晴れ
- 二日目 晴れ、夜中になって本降りになる
- 三日目 朝から土砂降り

今回は航下時には天候に恵まれる形となった。ただし三日目は土砂降りとなったためテントの片付けなどは難航した。前日のうちにほとんどの片づけを済ませておいて正解だったといえる。

諸報告

- ・ 今回の合宿は御在所登山の次の日であったため、両方の合宿に参加したメンバーはかなり疲労困憊していた。また、三回生内藤の怪我によるラダーマンの減少、体調不良をおこした一回生の急な不参加が目立った。
- ・ 今回も馬堀ベースを使用した。
- ・ ゴールデンウィークということもあり、かなり混雑していた。
- ・ 近くに市営の銭湯があり、お手ごろな価格だったのでこれからはそこを使えば清潔さを保つことが出来る。ただし、石鹸とシャンプーはない。
- ・ 風によってテントがとびかけるトラブルが発生した。
- ・ 風はかなり強かったものの、航下時には天気もよくいい気候だった。
- ・ 馬堀ベースには日陰がないので真夏に使うとかなり暑いだろうということが予想される。
- ・ ただし今回からタプを購入したため、日陰を作ることが出来るようになった。食料など直射日光に弱いものはその影の中に入れておけばよいと思われる。
- ・ そのタプであるが、付属のペグがただのプラスチックだったため、非常に弱く、この合宿中に何本か折れてしまった。テント用のほかのペグを流用しなければならないだろう。
- ・ 今回は花見のために買ったBBQセットを持っていたため、BBQを行うことが出来た。特に調理は必要ないため、これからの合宿にも使用できれば食事をさらに楽しむことが出来るだろう。
- ・ 前回の保津川合宿で懸念されていたトイレ、水場であるが、「トロッコ馬堀駅」の裏側の駐車場に、仮設ではあるがトイレを発見した。コンビニよりも近く、自販機も多数置いてあったため、非常に便利である。
- ・ 二日目の夜中、ほかのグループが行ったと思われるごみの野焼きの燃えカスが風によって再燃焼し、あわ

やのところで消し止めた。もし誰も気づかなかっただら、周りに燃え移り、全員が焼死する可能性もあった。炭の消火はしっかりしなければ危ないという教訓にしたい。

参加者の感想

篠原雄介

新歓合宿は一回生の新鮮な感動を見せてもらえるのでとても楽しい。

今回も大勢の一回生が参加し楽しんでくれたようだ、これがきっかけで川に興味を持って遠征にも参加してほしい。

ラダーはあいかわらず人手不足だが、二、三回生のよく川に来るメンバーは皆そこそこ漕げる印象を受けた。ただラダーはあまり平均的に漕げるより、各回生に二、三人ずつプロフェッショナルが欲しいところだ。

ラダーマンを目指す人は、川の数をごこなして経験を積むのはもちろん、普段の水力学の勉強やイメージトレーニングで常に意識を高めておいて欲しい。

笠井高人

川シーズン到来!!久々の川でした。いつもならテンションが上がりまくりのはずなのに今回はあまりあがらず・・・。前日までの御在所登山合宿の疲れが明らかに残っていました。

今回から本格的に自分達の代で動き出そうと言う時であったにも関わらず、諸事情によりラダーが減ってしまい、少し不安を抱えての合宿であった。

新入生へのセーフティトークや漕ぎ方の説明をするのは初めてで、やはり言い忘れていたことが多々あったのは反省点ですね。

自分の操船技術としては約半年 ラフトに乗っていなかったが、わりとできていたように思う(たぶん)。1度だけコースを間違えるというミスを除けば、まずまずだったのではないのでしょうか。

それと、馬堀ベースも結構良いですね。食事もわりと良かったと思います。まあチョップドトマトを見たときはため息もんでしたが・・・。

福田瑛輝

一年ぶりの川合宿でした。そして最後の川合宿でした。川での活動は、スピード感や自然の予期できない動きを楽しめることができる。その反面、危険が伴うのでしっかりと技術を身につけてほしいと思いました。

松本幹

まず、一年生初参加の川合宿でケガや事故が無く終えられたのは良かった。また、この合宿で川の楽しさが一年生に伝わっていれば、成功だと思う。ただ水量が少なく迫りに欠けたのは残念だった。

杉原浩太

連休保津川合宿

今回の川合宿の成功点、失敗点をそれぞれ述べる。

・成功点、キャンプ地を馬堀にしたことで買い物、風呂、ラフトの運搬が便利に楽になり、保津駅下よりも馬堀でのキャンプは有利であった。

・失敗点、もてあそぶ時間があつた。新入生は待機している間にもやることがなかったように思う。ハイキングなど入念にプランすべきではないか。

藤田琢也

川合宿は、約一年半というブランクを抱えての参加でした。
馬堀ベースということで宿泊に関しては、前回よりもだいぶマシでしたし、
食事もバーベキューという豪華なものを頂きました。一回生も楽しんでくれたようなので良かったです。
ただ、保津峡での荷揚げは相変わらず大変ですね。

中安祐貴

約1年ぶりの川合宿でしたが、新入生も多く参加してくれて楽しめました。大きな事故もなく、夕食も成功だったということで良かったと思います。ただ、今回初めて舵取りをさせてもらいましたが、なかなかうまくいかなかったのが残念です。次回以降はその練習もしっかりして、技術の向上にも積極的に邁進して行きたいと思いました。

橋崎裕幸

負傷や病欠などによる欠員で、CLはメンバーやスケジュールの調整に苦労していたようだが、終わってみれば、新入生に川を楽しんでもらうという意味だけでなく、ラダーマンの育成という点でも成功であったと言えると思う。
また、新たに購入したタープも物凄く効果的であった。日が強くなるこれからの時期には大活躍すること間違いなしだろう。

川原将司

テントを張る時は、面倒でも、風で飛んだりテントの形が変形しないように固定する事と、風の力を決して甘く見ないようにする事が再認識できて良かったです。
ラフティングはかなり楽しかったです。また次はスリルのある場所でラフティングしたいです。

千葉弘貴

今回は初めての川合宿ということで、少し緊張していましたが、無事に終われて良かったと思っています。今回のラフティングで1番印象的だったのが、予想以上のスリリングがあった事です。しかし、それに危険も伴っているので、次に行く時も油断せずに気を引きしめて臨みたいと思っています。

杉山智也

初めてのラフティングだったけど先輩たちに指導してもらって基本の基本くらいはできるようになりました！これからは技術をつけていっているいろいろな川をくだっていきたいです。

湊屋和也

初めての川下りということで心配とワクワクする気持ちがまざって落ち着かない気持ちでしたが、いざ下ってみると自然と一体になっている感触があり、それは僕にとって初めての体験でした。唯一飛び下りだけは恐さしか生まれませんでした(笑)

廣谷潤

今回の合宿は3日のうちの1日だけ参加させてもらいましたが、後からもっとやりたいな、という感じをうけました
ラフティングは準備と移動は大変でしたが、ここしばらく水遊びをしてなかったためラフティングはかなりエキ

サイトしました

初めてのラフトボートだったのでサインに遅れたり、水をかくのが浅かったり飛び込みも中学校以来だったため、ただ普通に飛んでしまったりと少々どんくさくなってしまいましたが、これからも参加していきたいです

乾綾乃

私にとって初めての体験でした。保津川の流れや青々とした山々に大自然を感じました。ただ化繊のシャツを着てなかったのでかなり寒かったです。飛び込みは怖かったけどスリル満点で面白かったです。

溝口昇太

今回は自分が初のCLということもあり、かなり精神的に疲れたこともありましたが、結局事故もなく、安全に川を下ることが出来ました。

ラダーとして、川を下らされたのは初めてだったのでかなり緊張はしましたが、一箇所の例外を除いては大体いけるだろうという自信を持つことが出来ました。ただ、フリップラインやロープの使い方、緊急時の対処法などの面がまだ不十分なので、これから学んでいきたいと思った。

荷物の積み込み時のミスにより、一回目の降下の際にロープとナイフがないという最悪の事態になってしまったので、準備にはそれなりの余裕を持って当たりたい。

合宿と合宿の間には休憩日を作るほうが好ましいだろうという結論に達しました。